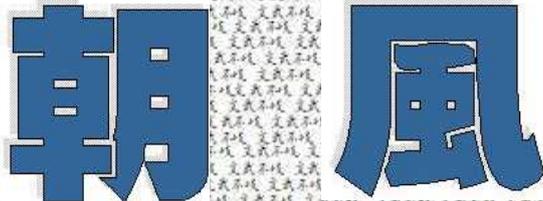


 <p>Member of United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization</p>  <p>UNESCO Associated Schools</p>  <p>AKITA SDGs</p>		<p>令和3年度 学校報No.30</p> <p>令和3年12月10日</p> <p>大仙市立 大曲南中学校</p>
<p>教育目標 自立 探究 貢献 ～ 志高く 自ら学び 未来を拓く ～</p>		 <p>※HP随時 更新しています</p>

◇PTA授業参観へのご参加ありがとうございました。

お忙しい中、PTA授業参観、講演会、学年懇談にご参加いただきありがとうございました。生徒たちが一生懸命学ぶ姿をご覧いただけたことと思います。

講演講師の藤原幸一さんから、講演の最後に私たちにできるとしてお話がありました。

ノーモア・プラスチック できることからやってみよう

11のR

①Remind気付く ②Reject拒否する

家のゴミ箱をまずは調べて、いかに多くのプラスチックゴミが毎日出ているか勉強しましょう。プラスチック製品を買わないようにしましょう。レジ袋を断ろう。

③Reduce減らす ④Reuse繰り返し使う

余分なプラスチックを減らす工夫をしよう。捨てないで何回も使おう。

⑤Recycle再利用する

循環型の再利用をしよう。マテリアルリサイクルとケミカルリサイクル。

⑥Recover取り出す

エネルギーリサイクルで再生できないプラスチックゴミから燃料エネルギーとして使い、サーマルリサイクルで地球の資源を補おう。

⑦Return昔に戻る ⑧Replace代替品を使う

昔のように自然素材の物を使おう。紙素材や綿100%のエコバッグ。

⑨Repair修理する ⑩Redesign作りを見直す

修理しやすい製品に作り替えて捨てないようにしよう。製造工程を見直しましょう。

⑪Restore復活する

ゴミ拾いをして自然を復活させる。英国家族クリーンアップの発信。北太平洋に浮かぶゴミ回収作戦。ゆうれい網回収プロジェクト。

※保護者の皆さんから寄せられた感想です。

- ・藤原先生の講演は興味深く、早急に取り組むべき課題があると感じながら聞かせていただきました。人が利便を求めると技術が向上し、又、衛生面においても他国に比べ整備されています。しかし、先生が映し出す写真や映像から、人が作り出した物で害を被る動物たちがたくさんいることを知りました。プラスチック製品を使わず生活することは今の生活では難しいかも知れませんが、でも、エコバッグを推奨し始めた今、小さなことから変えていくことができると感じました。ご講演いただいたこと、本当にうれしく思いました。ありがとうございました。
- ・実際に起こっていることを詳しく教えていただいて問題意識が高まりました。興味深いお話でした。子どもと一緒に生活を見直してみたいと思います。貴重な機会をありがとうございました。
- ・私たちの見ることができない世界を見ることができました。心が苦しくなりました。この世界を作ってしまったのは、間違いなく私たち人間で、それを解決できるのも(手遅れになる前に)私たち人間なのだと責任を感じました。今すぐにも行動しなければ、子どもたちの住む未来の地球が…。一人一人の力は小さいかも知れませんが、今日の思いを忘れることなく、できることから始めていかなければと思った時間でした。ありがとうございました。(余談)ナイロンのマイバッグを持っていることで「エコ」しているつもりになっている自分が恥ずかしくなりました。まずはそこから始めます!!
- ・世界中にプラスチックがあふれている現実を知り、驚きました。家庭でできることから改善していこうと思いました。
- ・学校全体として環境問題への関心が高まる中で、子どもたちも興味をもてるテーマで、私自身も大変楽しみにしていました。海のプラゴミ問題については、知ってはいてもどこか他人事のように捉えていましたが、自分が直接投棄していなくても身の回りのプラ製品から細かなプラスチックが空気や生活排水の中に排出されているとのことで、考えさせられる内容でした。まさに「ちりも積もれば…」ですが、逆に一人一人のエコへの取組も同様だと思いました。家族でも子どもと一緒に出来ることから環境問題に取り組んでいきたいと思いました。

ありがとうございました。次号には生徒の感想を掲載します。